

牛若まつりにおける自衛隊イベントブース出展



自衛隊神奈川地方協力本部藤沢募集案内所（所長・呉屋一陸尉）は、5月5日（金）、陸上自衛隊横浜駐屯地に所在する東部方面警務隊第129地区警務隊及び自衛官募集相談員と協力し、白旗神社で行われた「第16回子どもの日を祝う牛若まつり」に参加し、イベントブースを出展しました。

今回の開催は、新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりということもあり、多くの子ども達や御家族が来場し、境内に泳がせた鯉のぼりの下で昔ながらの遊びを楽しんでいました。自衛隊ブースにおいては、活動パネルの展示や動画の放映などを実施し、迷彩服や制服等の試着による記念撮影やジープ及び白バイの乗車体験では行列ができるほどの盛況ぶりでした。

本まつりの参加にあたり、子ども達の健やかな成長を願うとともに地域の方々との交流を深めることができました。

藤沢募集案内所は、「今後も各種イベントに積極的に参加して自衛隊がより身近な存在となるよう募集・広報等に励んでいきたい」としている。

相模原市民若葉まつりに参加



神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 新妻一陸尉）は、5月13日（土）・14日（日）、相模原市民若葉まつり（相模原市中央区）において、相模原地域自衛官募集相談員会が出展した広報ブースを支援した。このイベントは相模原のふるさとづくりをテーマに始められ、通常は満開の桜の下で、4月の第一週に「桜まつり」として開催され、統一地方選が行われる年は新緑が芽吹く5月に「若葉まつり」として開催されている。



イベント当日は、市役所さくら通りの約1キロの区間を交通規制し、市内で活動する団体を中心としたブースの出展やパレード、ステージイベントがあり、お祭りや縁日でおなじみの屋台が約300店出店した。自衛隊ブースでは、災害派遣パネル展示及び子ども用戦闘服等の試着を行った。多くの子ども達が集まり、行列ができるほどの盛況であった。また、募集相談コーナーでは入隊制度の説明等も行い、募集対象者や保護者の熱心な質問に答えた。

相模原地域事務所は、「今後も、募集相談員会等と連携し、地域のイベントの場を活用して市民に密着した広報活動を行い、自衛隊の理解を更に深めるとともに、自衛官募集の成果に繋げていきたい」としている。